

● 診療科の特色

小児外科では、新生児から中学生までの頸部、胸部、腹部、腎尿路、婦人科領域の外科的疾患を扱っている。小児外科指導医 2 名(常勤医1名、非常勤医1名)、小児外科専門医 4 名、小児泌尿器科認定医 2 名、小児がん認定外科医 1 名、腎移植認定医 1 名など各種専門資格を有する医師が在籍している。中四国地方で最も手術件数の多い施設であり、スタッフも充実している。小児外科救急疾患に関しては基本的に 24 時間、常時対応している。当院は総合周産期母子センターに指定されており、新生児外科疾患も数多く扱っている。近年では胎児診断症例も増えているため、出生前からの検査や管理、出産後の治療まで産婦人科、新生児科と連携して行っている。悪性固形腫瘍(神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、横紋筋肉腫、奇形腫など)の治療に関しては、小児科と協力し、国内のスタディーグループのプロトコールに準じて行っており、良好な結果が得られている。当科は小児泌尿器科疾患の治療も長年にわたり行っており、小児外科と小児泌尿器科両方の知識と手術技術を必要とする総排泄遺残症、外反症、などの治療経験も豊富である。また総排泄腔専門外来も有している。また小児腎移植に関しては、生体腎、献腎移植のいずれにも対応している。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 576 件

手術名	件数
鼠径ヘルニア	134
停留精巣	56
虫垂炎	37
膀胱尿管逆流	17
腎移植	8
尿道下裂	6
腎盂形成	5
悪性固形腫瘍摘出	3
新生児外科手術	15
重症心身障害関連手術	26

2. その他

a) 教育・研修

小児外科専門医を取得でき、また実力の伴った小児外科医を育てるべく、当院の外科、小児科、新生児科と連携した研修を行ってもらっている。研修に関してはNPO法人中国四国小児外科医療支援機構に所属する他施設(倉敷中央病院、島根大学付属病院、四国こどもとおとなの医療センター、山口県立総合医療センター)と連携を図っている。

b) 海外小児外科医療支援

国際ボランティア組織であるジャパンハートと協力し、年に 2 度ミャンマーもしくはカンボジアにて数

多くの主要な手術を施行してきた。新型コロナの感染拡大のため、渡航が困難となり、難易度の高い手術を必要とする肝芽腫などのがん患者を当院に受け入れて治療を行っていた。渡航可能となった最近では頻度を増やし、2ヵ月に1回程度の海外医療活動を再開している。また、カンボジアの病院とは定期的に治療方針に関して、Webカンファレンスを行っている。

c) 低侵襲手術

膀胱尿管逆流症に対しては経尿道的 Deflux 注入療法を施行している。鏡視下手術は虫垂炎切除術、鼠径ヘルニア根治術、噴門形成術、腎盂形成術、脾臓摘出術、良性腫瘍摘出術、高位鎖肛根治術、ヒルシュスプルング病(long segment)根治術、肺切除術などに積極的に施行している。手術術式として従来の開腹、開胸手術の方が安全で、精度が高いと考えられる疾患に関しては現時点では適応としていない。

小児外科ホームページ(<http://www.shonigeka.com/>)で当科の詳細を公開している。

● 研究業績

論文

- 1) 中原康雄,高橋雄介,橋本晋太郎,大倉隆宏,石橋脩一,浮田明見
経過中に ECMO を要した Stage 4S 神経芽腫の 1 例
日本小児血液・がん学会雑誌,59 巻,2 号,197-201,2022 年 7 月 1 日
- 2) 浮田明見,中原康雄,大倉隆宏,石橋脩一,橋本晋太郎,高橋雄介,丸中三菜子
治療中に骨転移巣のフレア現象を認めた腎明細胞肉腫の一例
日本小児血液・がん学会雑誌,59 巻,2 号,192-196,2022 年 7 月 1 日
- 3) 石橋脩一,中原康雄,高橋雄介,橋本晋太郎,大倉隆宏,浮田明見
腹腔鏡下手術で診断・治療した外膀胱上窩ヘルニアの小児例
日本小児外科学会雑誌,58 巻,6 号,897-901,2022 年 10 月 1 日
- 4) 花木祥二郎,中原康雄,大倉隆宏,高橋雄介,橋本晋太郎,石橋脩一,浮田明見
受傷後早期に Letton-Wilson 手術を施行したⅢb 型外傷性膝頭部損傷の小児例
日本小児外科学会雑誌,58 巻,4 号,740-746,2022 年 6 月 1 日
- 5) 花木祥二郎,中原康雄,大倉隆宏,高橋雄介,橋本晋太郎,石橋脩一,浮田明見
Urethral Meatal Web による Anterior Deflected Urinary Stream を認めた 1 例
日本小児泌尿器科学会雑誌,3 巻,1 号,75-78,2022 年 6 月 1 日
- 6) 高橋雄介,清水順也,藤原拓造,神農陽子,中原康雄,大倉隆宏,石橋脩一,浮田明見,後藤隆文
当科における小児腎移植後 surveillance biopsy の検討
日本小児腎不全学会雑誌,42 巻,85-88,2022 年 8 月 31 日

学会発表

- 1) 消化管利用膀胱拡大・代用膀胱術後の排便状況について
中原 康雄

第 59 回日本小児外科学会学術集会

2022 年 5 月 19 日

- 2) 当院の乳児期両側高度 VUR (Grade4/5) の治療
中原 康雄
第 31 回日本小児泌尿器科学会 2022 年 7 月 21 日
- 3) 当院での総排泄腔遺残症の治療について
中原 康雄
第 31 回日本小児泌尿器科学会 2022 年 7 月 22 日
- 4) 後区域枝胆管の走行に配慮した肝門部空腸吻合術
中原 康雄
第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 2022 年 10 月 28 日
- 5) 総排泄腔遺残症に対するサルベージ手術
中原 康雄
第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2022 年 10 月 29 日
- 6) 総排泄腔異常症の分類について-青山の分類-
中原 康雄
第 1 回総排泄腔異常シンポジウム 2023 年 2 月 25 日
- 7) 当科における先天性嚢胞性肺疾患のまとめ
人見 浩介
第 61 回日本小児外科学会中国四国地方会 2022 年 10 月 8 日
- 8) 肝芽腫手術症例の検討
人見 浩介
第 63 回中国四国小児がん・小児外科研究会 2022 年 4 月 23 日
- 9) 半腎切除術を施行した完全重複腎盂尿管症例の検討
人見 浩介
第 333 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2022 年 12 月 10 日
- 10) 治療を要した重複腎盂尿管症例のまとめ
人見 浩介
第 74 回中国四国小児科学会 in KOCHI 2022 年 10 月 30 日
- 11) 結腸利用造脘術後に難治性膣炎を呈した一例
人見 浩介
第 1 回総排泄腔異常シンポジウム in 岡山 2023 年 2 月 26 日
- 12) 化学療法抵抗性の肝芽腫 StageIV の 1 例
浮田 明見
第 63 回中国四国小児がん・小児外科研究会 2022 年 4 月 23 日
- 13) 母の副腎原発アンドロゲン腫瘍が原因であった尿生殖洞遺残の姉妹例
浮田 明見

- 第 59 回日本小児外科学会学術集会 2022 年 5 月 21 日
- 14) 直腸肛門奇形術後 50 年で Douglas 窩に発症した直腸腺癌の 1 例
向井 亘
第 78 回直腸肛門奇形研究会 2022 年 10 月 28 日
- 15) 高吸収性樹脂性玩具を誤飲した 1 例
高田 知佳
第 61 回日本小児外科学会中国四国地方会 2022 年 10 月 8 日
- 16) 気管腕頭動脈瘤に対する緊急手術について
高田 知佳
第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2022 年 10 月 29 日
- 17) 巨大肝限局性結節性過形成の 1 例
石橋 脩一
第 63 回中国四国小児がん・小児外科研究会 2022 年 4 月 23 日
- 18) 巨大限局性結節性過形成の一例
石橋 脩一
第 58 回日本小児放射線学会学術集会 2022 年 6 月 3 日
- 19) 腹腔鏡下腫瘍摘出術を行った先天性脾嚢胞の 1 例
梶 祐貴
第 61 回日本小児外科学会中国四国地方会 2022 年 10 月 8 日
- 20) COVID-19 流行下での精巣捻転症への対応
与河 圭太
第 74 回中国四国小児科学会 in KOCHI 2022 年 10 月 29 日
- 21) 当科における小児腎移植後ウイルス血症/尿症の現状
高橋 雄介
第 57 回日本小児腎臓病学会学術集会 2022 年 5 月 27 日
- 22) 当科における小児腎移植後ウイルス血症/尿症の現状
高橋 雄介
第 58 回日本移植学会総会 2022 年 10 月 13 日
- 講演、研究会
- 1) 第 63 回中国四国小児がん・小児外科研究会 2022 年 4 月 23 日
中原 康雄
- 2) 第 38 回中国四国小児腎臓病学会 2022 年 10 月 16 日
地方小児外科医による、中国四国地域の小児腎移植集約化に向けた取り組み
高橋 雄介

- 3) 第 43 回日本小児腎不全学会学術集会 2022 年 12 月 9 日
岡山医療センターによる小児腎移植診療～地方の腎臓病のこどもたちのために～
高橋 雄介

座長

- 1) 第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 2022 年 10 月 27 日
胸部・横隔膜・その他
中原 康雄
- 2) 第 31 回日本小児泌尿器科学会 2022 年 7 月 22 日
総排泄腔遺残
中原 康雄
- 3) 第 63 回中国四国小児がん・小児外科研究会 2022 年 4 月 23 日
小児肝腫瘍に対する多施設共同研究と外科治療
中原 康雄